

テーマ

日本人のギャンブル依存率はどれくらい？

適用分野

◎他の諸国・地域と比較した場合の日本人のギャンブル依存率を紹介する。



研究名称

日本人のギャンブル依存率は、世界の中でどれくらい？

氏名所属

森剛志 教授
経済学部 経済学科

内容

●特徴

カジノ法案が通過したけれど、日本にカジノができる前に、そもそも日本人はギャンブル好きな国民なのかどうか検証する必要があるだろう。

日本人は、他の先進諸国と比較して、人口あたりの病的ギャンブルの割合が極めて高いという指摘がある。一方で、海外と比較できるような包括的な調査は、日本人に関しては、ほとんど行われてこなかった。海外の先行研究と比較可能なものとするためにSOGS-R (The South Oaks Gambling Screen Revised)などの指標を用いて、人口あたりのギャンブル依存率の割合を調査し分析した数少ない研究である。

●研究内容

日本人は、他の先進諸国と比較して、人口あたりのギャンブル依存の割合が極めて高いと言われてきた。厚生労働科学班による調査では、日本人のギャンブル依存率は、成人全体で4.8%(男性8.8%, 女性1.8%)と報告されていた(2013年調査)。この依存率から割り出される日本人のギャンブル依存症の人数は、合計で536万人(男性438万人 女性98万人)である。

一方で、海外と比較できるような包括的な調査は、日本人に関しては行われてこなかった。

これまでの海外の先行研究では、先進諸国の人口当たりのギャンブル依存率は平均 2.3%であり、依存率が低いのは欧州諸国で、中程度が北米諸国およびオーストラリア、高い依存率の地域がアジア地域(シンガポール・マカオなど)である。

海外の先行研究と比較できる形で、日本の人口あたりのギャンブル依存率の割合を調査し分析した結果、やはり極めて高く、人口当たり約 8%もあることがわかった(SOGS-R, cut-off=5)。

参考：

Mori, T., & Goto, R. (2020). Prevalence of problem gambling among Japanese adults. *International Gambling Studies*, 1-9.

キーワード

ギャンブル依存率、カジノ、パチンコ、競輪、競馬、ネットカジノ

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究